

## 「長崎ビジネス交流会」開催

2008年4月21日～22日の2日間にわたり、ふくおかフィナンシャルグループ三行と、それぞれの顧客会員組織主催による「長崎ビジネス交流会」が、長崎市で開催されました。

21日にはイベントとして、ふくおかフィナンシャルグループ谷正明会長兼社長より、「ふくおかフィナンシャルグループからのメッセージ」と題したIR講演、千葉商科大学大学院教授の齋藤精一郎氏による基調講演「日本経済・復活の条件と、今後の中小企業経営」、および地元中小企業経営者と三行役員の懇親会が、長崎全日空ホテルグラパールで行われました。

イベントには、しんわビジネスクラブ会員企業を中心とした三行のお取引先150名が出席。谷社長から「親和銀行の県内営業担当者を増員した。県内営業を強化することで金融システムを円滑化し、長崎経済にプラス効果をもたらす」と力強いメッセージが発せられました。

翌22日にはホテルニュー長崎において、長崎、福岡、熊本三県からの出展企業120社による多業種展示ブース形式によるビジネス交流会と、F F Gアジア進出支援セミナー、F F G観光セミナーが開催されました。

今回のような規模の商談会は長崎県内では珍しく、特に金融機関主催では過去最大のものとなりました。ビジネス交流会には、県内外より約3,500名の来場者があり、会場内は出展者側の積極的な商品PRと熱心に聞き入る来場者で大いに賑わいました。出展企業からは「具体的な商談が出来、今後の成約が期待できる成果があった。出展して良かった」「機会があれば今後とも出展したい」との声が聞かれました。

また、来場者からは「予想を超える立派な商談会でびっくりした。親和銀行のF F G統合効果を実感した」「地元企業に対する貢献度は高い。今後とも継続的な開催を望みたい」との意見があったほか、「今回は出展しなかったが、これほどのものとは思わなかった。次回は是非とも出展したいので必ず案内してほしい」など、出展企業以外からもたくさんの方の反響がありました。

同時開催されたアジア進出支援セミナーでは、海外進出に精通したコンサルタントや貿易商社、海外流通企業のバイヤーが講演し、約100名の出席者が熱心に耳を傾けました。出席者からは「海外で売れるものを作って売る」という講演者の言葉に、共感し納得した声が寄せられました。観光セミナーでは旅行雑誌「じゃらん」の元編集長、JTB、外国人向けフリーペーパーの出版社社長など多彩な講師陣により、地元長崎の主要産業である観光をテーマとした講演が行われました。来場者からは「わかりやすく、役立つ情報提供だった」という声が多数寄せられました。

(前島 顕吾)



左から、鈴木熊本ファミリー銀行頭取、谷社長、藤井長崎県副知事、鬼木親和銀行頭取



齋藤精一郎氏

